

平成 23 年 4 月 25 日

准教授候補者の募集について（お知らせ）

岩手大学農学部共生環境課程
准教授選考委員会 委員長 三輪 弌

本課程では、下記募集要項により准教授 1 名を公募します。
選考は本学の定める手続きにより行い、結果は応募者本人にお知らせします。

岩手大学農学部共生環境課程 准教授募集要項

- 1 職種・人員 准教授・1 名
- 2 所属・担当 環境科学系に所属し、学部は農学部共生環境課程・農村環境デザイン学
コース分野を主に担当します。大学院は農学研究科共生環境専攻を担当
します。
- 3 教育研究分野・担当科目
教育研究専門分野：農業土木学水利環境工学系分野
担当科目 学士課程：水理学，水理学実験演習，かんがい・施設学，環境修復学，
環境プロセス基礎実験，応用数学，農村環境デザイン学演習
など
修士課程：水利環境工学特論
その他：学士課程における全学共通教育科目，専門基礎科目の一部
- 4 応募資格 (1) 博士の学位を有する方。
(2) 当該専門分野において准教授にふさわしい研究業績を有し、今後当該
分野において新規性，独創性を持つ研究を展開できること。
(3) 学部生および大学院生に対する教育研究指導を熱心に行えること。
(4) 農村地域の課題解決などにおいて地域貢献できること。
(5) 課程および大学運営に積極的に参加できること。
- 5 任用予定日 平成 23 年 10 月 1 日以降
- 6 提出書類 (1) 履歴書 1 通（写真貼付、署名、捺印のあるもの。）
(2) 研究業績目録 1 部（別紙作成要領を参照）
(3) 主要論文別刷 5 編以内（コピー可）
(4) これまでの研究概要および着任後の教育研究活動に対する抱負
(2000 字程度)
(5) 照会可能な方 1 名の氏名と連絡先（住所，電話，E-mail）
- 7 公募締切日 平成 23 年 6 月 13 日（月）
- 8 応募書類提出先 〒020-8550 盛岡市上田 3-18-8
岩手大学農学部共生環境課程 准教授選考委員長 三輪 弌
（応募封筒には「共生環境課程准教授 応募書類在中」と朱書きして，簡

易書留で郵送して下さい。なお、応募書類の返却を希望する場合は返却用封筒（切手貼付のもの）を同封してください。）

- 9 問い合わせ先 E-mail : hmiwa@iwate-u.ac.jp, 電話 : 019-621-6270
(問い合わせは、出来るだけ E-メールをお願いします。その場合、件名を【共生環境課程准教授公募について】としてください)
- 10 ホームページ (参考) 共生環境課程のホームページ URL は下記のとおりです。
<http://news7a1.atm.iwate-u.ac.jp/department2/env/index.html>
- 11 そ の 他 業績および資格に係わる評価が同等である場合には、男女共同参画社会基本法の趣旨に則り、女性を優先的に採用します。

「研究業績」の作成について（2007. 4）

農学部教員人事委員会

研究業績は、A4判の用紙に A.著書・訳書、B.学位論文、C.総説・論説、D.原著論文 (a)学術雑誌*¹、(b)紀要*²、(c)プロシーディングス、E. その他*³、F. 報告書・事業報告書等*⁴、G. 特許・設計等、H.国際学会発表*⁵、I. 国内学会発表*⁵の順に、下記の例を参考にして作成してください。例えば総説・論説がない場合は、C. 原著論文のように繰り上げてください。マージンは左右上下約3cmに設定し、1行35～40字で40行程度（日本語の場合フォントのサイズは10.5～12程度）にしてください。

- *1：学会誌、国際誌等を年代順に記載する。
- *2：試験場報告、研究所報告等を含む。
- *3：商業雑誌、資料等を記載する。
- *4：調査報告書、科学研究費報告書、事業報告書等を記載する。
- *5：最近5ヵ年について記載する。（教授選考の場合、I. 国内学会発表は不要）
- *6：著者名にアンダーラインを付け、コレスポンディングオーサーあるいは筆頭著者とイコールコントリビューションの場合は二重のアンダーラインを付ける。ただし論文にその記載がある場合に限る。
- *7：英文で著者名を記載する場合は、下記のようにする。
1. Morioka, J., Iwate, I. and Akita, N. (1986)
- *8：学名にはアンダーラインをつけるか、またはイタリックで記載する。
- *9：論文番号は全角、英数字は半角にする。また、巻数はボールド（太字）とする。
- *10：Journal は略記する。
- *11：発行又は発表予定として記載可能なのは in press か accepted のみとする。

〈記載例〉

研 究 業 績 (著書・学術論文等)

A. 著書・訳書

1. 岩手一郎 (単著) (1990)
農学について. ○○出版社, 東京, 100p.
2. 岩手一郎 (分担執筆) (1991)
北上山地における畜産業, 「岩手の農業」(大学太郎, 学部一郎編), △△堂, 盛岡, pp.10-20.
3. 岩手一郎 (分担翻訳) (1992)
トウモロコシ, 「アメリカの農業」(A.B.Carter 著, 大学太郎監訳), ◇◇社, 東京, pp.20-30.
4. Iwate, I. and Morioka, J. (分担執筆) (1993)
Agriculture in Japan, “Agricultural Sciences”(Eds.: D. E. F. Green and H.I.James), Bio Press, London, pp.20-30.

B. 学位論文

1. 岩手一郎 (1980)
XYZに関する研究. [◇◇学修士または修士 (◇◇学) ○○大学]
2. 岩手一郎 (1983)
ABCに関する研究. [◇◇学博士または博士 (◇◇学) ○○大学]

C. 総説・論説

1. 岩手一郎 (1994)
岩手における野生動物の分布. 岩手の自然 No.3 : 1-5.
2. 岩手一郎, 盛岡次郎 (1995)
岩手山の植物分布. 岩手植物誌 **15** : 215-220.

D. 原著論文

(a) 学術雑誌

1. 岩手一郎 (1985)
岩手の野生動物に関する研究. 日動学誌 5 : 15-20.
2. Morioka, J., Iwate, I. and Akita, N. (1986)
Distribution of wild animals in Iwate Prefecture. Jpn. J. Anim. Sci. 20 : 100-105.
3. Iwate, I. (1990)
Calcium metabolism in laying Japanese quail (*Coturnix coturnix japonica*). Jpn. Avian Physiol. 25 : 15-20.

(b) 紀要

1. 岩手一郎 (1985)
トウホクヤマネズミの生態について. 岩手大農報 17 : 30-40.

(c) プロシーディングス

1. Iwate, I., Morioka, J. and Akita, N. (1995)
Mode of life of Japanese macaques in northern Japan. Proc. 5th Int. Cong. of Wild Animals, Berlin, pp.101-102.

E. その他

1. 盛岡次郎, 岩手一郎 (1990)
北上山系におけるニホンカモシカの生態調査. 野生動物 No.125 : pp.35-45.

F. 報告書・事業報告書等

1. 盛岡次郎, 岩手一郎 (1993)
イヌワシのPCB汚染. 自然動物調査報告(△△県), pp.10-11.

G. 特許・設計等

1. 盛岡次郎, 岩手一郎 (1993)
イヌワシ捕獲装置 特許第 1234567 号

H. 国際学会発表(最近5か年)

1. Morioka, J. and Iwate, I. (1996)
Ecological study of wild animals in Japan. 5th Int. Anim. Ecol., New York.

I. 国内学会発表(最近5か年)

1. 岩手一郎, 盛岡次郎 (1997)
岩手の野生動物. 第100回日本野生動物学会講演要旨 : 25-26.